

おはだ

ムシでできない水虫の話

原因は「虫」ではなく「カビ」

水虫は夏になると増えてくる病気で、主に足にできますが、原因は白癬菌というカビの一種です。食べ物にカビが生えるように、皮膚にもカビが生えるのです。

水虫にも3種あり

水虫にも色々な形をとるものがあります。指の間にでき、ジクジクしてくる「趾間型」、小さな水ぶくれができる「小水疱型」、足の裏が硬くなってカサカサしてくる「角化型」などです。

水虫のようで水虫でない

一見、水虫のように見えても水虫でない病気がいくつかあります。「汗疱」「掌蹠膿疱症」などがそうです。水虫かどうかはどんな名医でも肉眼では分かりません。顕微鏡による検査をすればハッキリします。水虫でない病気に水虫の薬を塗っていたのでは、「肛門

に目薬」です。皮膚科専門医で検査、治療を受けましょう。

痒くないから水虫でない？

水虫は痒いものと思っている人が多くいますが、実際は水虫の約半数は痒くありません。「痒いから水虫」とは限りませんし、「痒くないから水虫でない」とも言えません。

ジクジク水虫に要注意

ジクジクした水虫は、カビの感染に加えて皮膚炎を起こしています。このような皮膚にいきなり水虫の薬を塗ると、かえって悪化してきます。まず皮膚炎の治療を優先し、ジクジクが治ってから水虫の治療をします。

水虫で入院？

水虫を引っかいて、傷のところからバイ菌が入り、足が腫れあが



ってくる場合があります。ひどい場合、入院して化膿止めの点滴をしなければならぬこともあります。

水虫の恐るべし生命力

水虫は畳、床、お風呂の足拭きマット、スリッパなどにより、他人に感染します。水虫の人が裸足で畳を歩くと、白癬菌が畳に付着し、3ヶ月間生き続けます。それを踏んだ人は水虫に感染する可能性があります。水虫を他人にうつさないためには、お風呂の足拭きマット、スリッパを別にし、室内では靴下を履いておくことです。

治療の3原則

水虫の治療には「ツ」があります。

- ① 塗り薬は広めに
- ② 3ヶ月間は塗る
- ③ 家族ぐるみで治療する

また、爪の水虫には飲み薬が有効です。「たかが水虫、されど水虫」しっかりと治療しましょう。